

平成30年9月定例会会議録（第3号）

平成30年9月7日 金曜日 午前10時00分開議

渋谷 佐 輔 議長 小 関 秀 一 副議長

出席議員（16名）

1番	宇津木	正紀	議員	2番	浅野	敏明	議員
3番	金子	豊美	議員	4番	内谷	邦彦	議員
5番	平	進介	議員	6番	鈴木	富美子	議員
7番	渡部	秀樹	議員	8番	今泉	春江	議員
9番	梅津	善之	議員	10番	赤間	泰広	議員
11番	小関	秀一	議員	12番	五十嵐	智洋	議員
13番	蒲生	光男	議員	14番	安部	隆	議員
15番	町田	義昭	議員	16番	渋谷	佐輔	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内谷重治	市長	遠藤健司	副市長
齋藤環樹	総務参事	佐野安広	厚生参事
伊藤亮一	会計管理者兼税務課長兼会計課長	竹田利弘	地方創生参事兼総合政策課長
小関浩幸	総務課長	鈴木嗣郎	財政課長
渡部和裕	公共施設整備課長	新野弘明	地域づくり推進課長
金子剛	市民課長	手塚慶一	健康課長
高橋正典	福祉あんしん課長	梅津義徳	子育て推進課長
堀越俊一郎	代表監査委員	平田裕	教育長
鈴木國男	選挙管理委員会委員長	寒河江忠	農業委員会会長
谷澤秀一	産業参事	青木邦博	建設参事兼公共事業推進調整参事
桐生芳弘	農林課長併農業委員会事務局長	赤間茂樹	商工観光課長
横山照康	産業活力推進課長	多田茂之	建設課長
蒲生浩美	上下水道課長	川村直人	教育参事
近藤智規	教育総務課長兼学校給食共同調理場長	竹田洋	学校教育課長
佐々木勝彦	文化生涯学習課長	沼澤孝典	生涯スポーツ課長

鈴木 良 弘 選挙管理委員会事務局長
併監査委員事務局長

五十嵐 和 彦 消 防 主 幹

事務局職員出席者

松 木 満	議 会 事 務 局 長	山 口 和 則	補	佐
若 月 由 紀	補佐 (議事調査担当)	飯 澤 光 梨	主	任
安 達 洋 司	技 士 長			

議 事 日 程 (第 3 号)

平成 3 0 年 9 月 7 日 金曜日 午前 1 0 時 0 0 分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 1 2 番 五十嵐 智 洋 議員
 - 3 番 金 子 豊 美 議員
 - 1 1 番 小 関 秀 一 議員
 - 1 0 番 赤 間 泰 広 議員

本日の会議に付した事件

議事日程 (第 3 号) に同じ

開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、五十嵐智洋議員並びに小関秀一議員から資料の配付について申し出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

五十嵐智洋議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位6番、議席番号12番、五十嵐智洋議員。

(12番五十嵐智洋議員登壇)

○**12番 五十嵐智洋議員** おはようございます。

昨日未明、北海道胆振地域で発生しました地震で犠牲になられた方に衷心よりお悔やみを申し上げ、被災されました住民の皆様にお見舞いを申し上げます。

4日に上陸しました台風21号が猛威を振るい、

四国、近畿地方を中心に大きな被害をもたらし、関西空港滑走路が高潮に完全に埋まり、さらにタンカーが連絡道路に激突し、国際空港としての機能が完全に麻痺した光景にどぎもを抜かれていましたが、2日もたたないうちの最大震度7の大地震発生は、日本列島は一体どうなっているんだと茫然といたしました。一日も早い復興と申し上げましても、余震におびえ、地震で大破した家の前で茫然とたたずみ、追い打ちをかけるように断水、停電、食料にも事欠く被災者の皆様には何の慰めにもなりません、命のある限り、必ず手が差し伸べられることを信じて、少しでも前に進んでいただきたいと思いません。

西日本豪雨災害のときも痛感いたしました。畳の上で寝られる、水道をひねれば水が出て、スイッチ一つで電気がつく当たり前の生活がいかにありがたいかというものです。長井市は、地下1キロあたりに花崗岩の岩盤に覆われ、地盤がかたく、地震には強い構造の地域だと聞いています。東日本大震災時の震度は県内の観測地点で4番目に低い値であり、他の地震発生時も近隣自治体より震度はいつも低いことを考えれば、科学的根拠も示されるのではないのでしょうか。昭和42年の羽越水害以降は、市民の人命や財産にかかわる災害は記憶になく、想定外の自然災害はいつ起こるかわかりませんが、山形県でもトップクラスの災害に強いまちと言えるのではないのでしょうか。

こんなことを申し上げるのは、私は以前から長井市を安全なまちとして、大きな声ではなくとも、PRし、人口増につなげられないものかと考えていました。しかし、他と比べて安全とは、災害に遭われた地域や大きな地震や津波が想定される地域の住民の方に対しては失礼ではないか、配慮に欠けるのではと意識があり、公の場では口に出さないでいたしましたが、立て続けに起きる悲惨な光景に、子供たちの命や財産を